

運輸部

平成23年度第2回沖縄地方バリアフリー推進連絡会議の開催について

POINT

現在、「どこでも、たれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえた「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下、「バリアフリー新法」という。平成21年12月20日施行）」に基づき、高齢者や障がい者等の方々が社会参加をするために重要な公共交通機関や建築物等についての移動円滑化施策が全国各地で進められているところです。

運輸部及び開発建設部では、平成23年3月24日、那覇市職員厚生会「厚生会館」3階多目的ホールにおいて、地域の学識経験者、障がい者団体、NPO法人、施設設置管理者、行政等が一堂に会し、情報や意見の交換を行い、お互いの取組に理解を深め、バリアフリーの現状や課題を共有し、よりよい協力関係を築き、連携してバリアフリー化の進展に寄与することを目的として「平成23年度第2回沖縄地方バリアフリー推進連絡会議」を開催しました。

今回の会議では、はじめに、沖縄総合事務局運輸部企画室の広瀬行久室長による「国土

交通省におけるバリアフリー施策について」と題して、平成23年度以降のバリアフリー施策の基本的方向（案）について説明を行いました。次に、沖縄総合事務局開発建設部建



設行政課の佐野俊光課長及び同運輸部企画室の広瀬行久室長から「沖縄総合事務局のバリアフリーの取組について」の説明がありました。続いて、平成22年度沖縄県福祉のまちづくり推進功労者表彰の沖縄県知事賞を受賞した沖縄大学から、人文学部福祉文化学科の谷口正厚教授を招聘し『「新沖縄大学宣言」とユニバーサルデザインの取り組み』と題した取組事例の紹介をして頂きました。

今回の会議を契機に、管内の市町村、施設設置管理者、障がい者団体等の関係者が、地域の一体的・総合的なバリアフリー化の推進の必要性に

ついて理解を一層深めていただくとともに、バリアフリー化社会の実現に向けた地域における取組を積極的に推進していただくことが期待されます。

